

三重県私費海外留学生体験記
森 陽平さん（イギリス・ケント州）
UCA 芸術大学 ファインアーツ科

2016年10月更新

・あなたの留学の目的は何ですか。

私はこれまで約 10 年間、日本人学校、特別支援学校で美術教育に携わってきました。近年では個人で作品を完成させるのではなく、多様な他者と関わる上で生み出される作品制作に取り組んできました。発展途上国や障がいをもつ方々と共に作品作りを通して交流し、その中で生まれる、作品を社会に発表してきました。途上国や日本の現場で活動していく中で、自らの専門知識の不足を痛感しました。そこで私は美術教育、開発教育の本場であるイギリスの大学院留学を通して専門知識を学び直したいと考えました。

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

UCA 芸術大学は約 150 年の歴史があるケント州のカンタベリーという町にあるアート&デザインのスペシャリストを育成する公立の芸術大学です。私はその中のマスターコース、ファインアーツ科で学んでいます。専攻するコースではコンテキストメソッドという理論を学ぶクラスとエクスプローラープラクティスと呼ばれるスタジオで実技制作を行う二つの授業に分かれています。このプログラムでは実技よりも理論を徹底的に重視し、自らの作品コンセプトと哲学、歴史の関係性について問われます。また、1対1の個人面談も月1回、設けられており、各教授から様々なアドバイスを受けます。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

私の志望する大学は美術大学だったので過去に製作した作品のポートフォリオと経歴書類、ステイメント、職場の上司と大学教授の推薦文2通、IELTS のスコアが必要でした。

私は学校現場で勤務していたので、入学の準備と並行しての教育委員会との調整も必要でした。大学を合格しても職場の許可が出ないと留学できないので必死でした。私は幸い、職場の上司や同僚、生徒や保護者など様々な方々のサポートがあったおかげで留学を実現した経緯があるので、周囲の理解が大切だと実感しました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

ブリティッシュカウンシルや留学凱旋業者が主催するフェアには参加しました。また留学ジャーナルなどの書籍、インターネットから情報も集めました。そして、これまで留学をされた方に直接会いに行ったり、連絡を取ったり積極的に行動しました。主体的に活動したことで、留学だけでなく留学後の人生など先輩からアドバイスを頂き大変参考になりました。

卒業し帰国した際は私もできる限り、三重県から世界に旅立つ若者のために協力をしたいと考えています。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

私が在籍するユニバーシティフォーザクリエイティブアーツは世界約 80 カ国からの留学生を受け入れるインターナショナルな美術大学です。そのような環境下で学ぶことはイギリスだけでなく他の国からの留学生から多様な文化や思考を学ぶことができると考えました。また、約30近くの美術分野コースがあり、自らが専攻するコース以外の他分野を幅広く学べることは非常に魅力的でした。更に、キャンパスは静かな郊外でありながらもロンドンまで電車で一時間と近く、美術を専攻とする私には好条件でした。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

私は JICA 教師海外研修を通してアフリカ、ザンビアに滞在する機会を得ました。その経験をおきなわ国際協力・交流フェスティバル 2014 の会場にて国際理解の一環として、ワークショップを行いました。また、沖縄市の NPO 法人流・動・体、企画のアートレジデンスの中でも、その活動報告をさせていただきました。その縁がきっかけで、ニューメキシコ大学と現勤務校とのコラボレーション版画作品交流会・展示会も行いました。